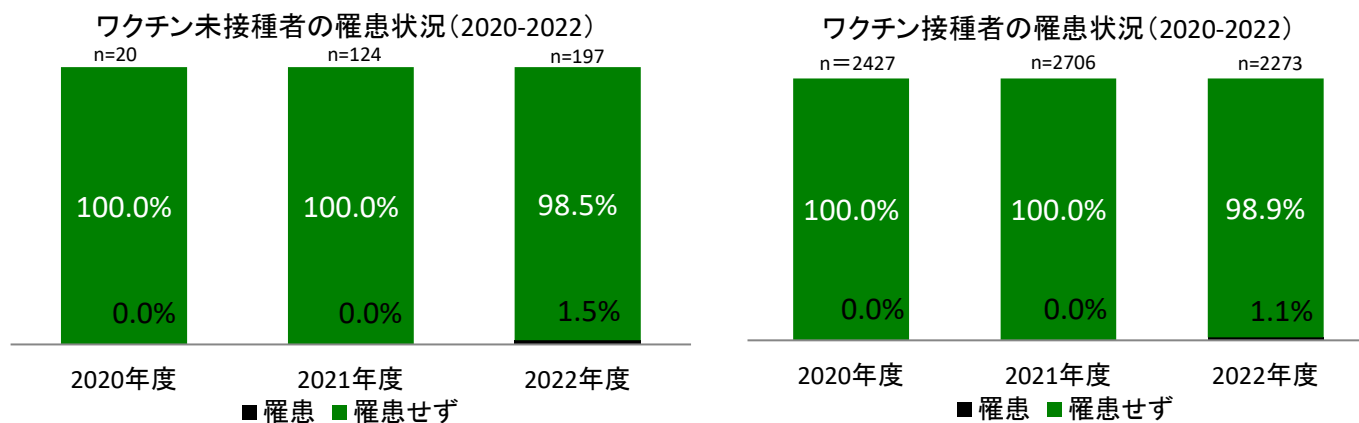
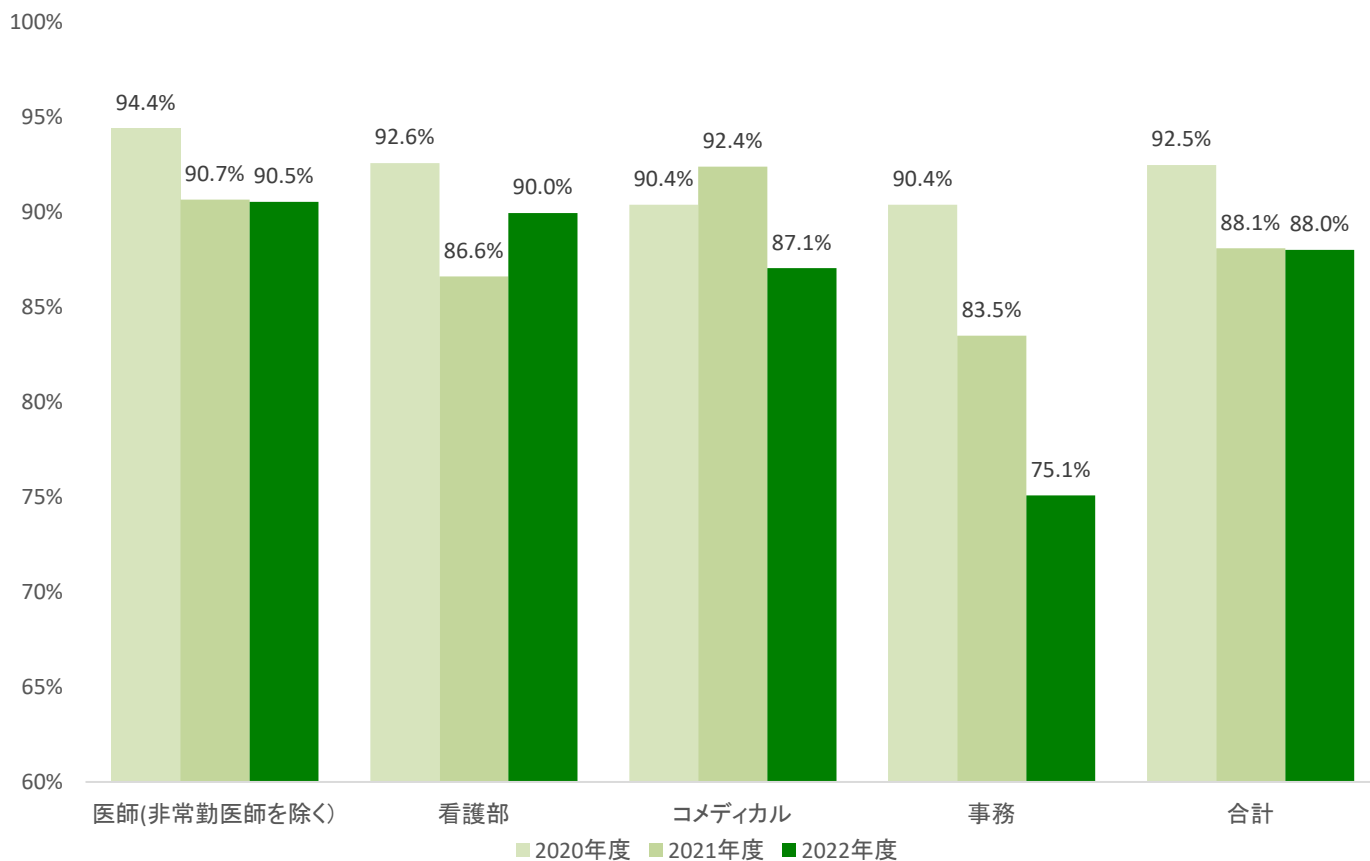


2020年度－2022年度 職種別インフルエンザワクチン接種率推移



【指標の説明】

医療機関を受診する患者さんは、免疫力が低下していることが多く、病院教職員からの感染を防止する必要があります。

医療職の接種率が高い場合には、院内感染防止対策に積極的に取り組んでいると評価出来ます。

医師・看護師の医療職については接種率90%程度を維持しております。

近年は、コロナ関連でスタッフがワクチン接種できなかったケースもありました。

【計算方法】

分子：インフルエンザワクチンを予防接種した病院教職員数

分母：病院教職員数

分子／分母 × 100